

管機連 Daily News

2021年11月18日(木)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆円の實力、50年ぶり低水準に接近 円安で成長力高まらず

・円の総合的な實力を示す実質実効為替レートが50年ぶりの低水準に近づいている。国際決済銀行(BIS)が17日に公表した10月の数値は68.71となり、1972年並みの低さになった。日本の物価上昇率が海外に比べて低く推移したことに加え、輸出競争力を重視して円安につながるような政策を進めたことが要因。

◆外国人就労「無期限」に 熟練者対象、農業など全分野

・出入国在留管理庁が人手不足の深刻な業種14分野で定めている外国人の在留資格「特定技能」について、2022年度にも事実上、在留期限をなくす方向で調整していることが17日、入管関係者への取材で分かった。熟練した技能があれば在留資格を何度でも更新可能で、家族の帯同も認める。建設など2分野から農業・製造・サービスなど様々な業種に広げる。

◆10月の貿易統計、自動車は36%減 輸出額の伸び率縮小

・財務省が17日発表した10月の貿易統計速報によると、輸出額は前年同月比9.4%増の7兆1840億円だった。伸び率は5カ月連続で縮小した。新型コロナウイルス禍の部品調達難が続き、自動車が36.7%減ったことが響いた。原油高で輸入額も3割弱増え、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は673億円の赤字。赤字は3カ月連続となる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆風力発電協会、500団体に急増 洋上風力「切り札」に

・風力発電の業界団体である日本風力発電協会(東京・港)の会員数が17日付で500団体に達したことが分かった。洋上風力の導入促進を巡っては官民協議会を通じ、2040年までに最大で原子力発電所45基分の出力に相当する4500万キロワットの案件をつくる目標が提示されている。第6次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーの「切り札」として明記される。

◆ガソリン価格、3カ月ぶり値下がり 灯油は13年ぶり高値

・資源エネルギー庁は17日、レギュラーガソリンの店頭価格(15日時点、全国平均)が1リットル168.9円だったと発表した。石油元売り各社が前週、原油価格の下落を受けて卸値を引き下げており約3カ月ぶりの値下がりとなった。ただ価格は高止まりしており、消費者負担はなお重い。

◆機械受注、7～9月0.7%増 2期連続プラス

・内閣府が17日発表した2021年7～9月期の機械受注統計によると、設備投資の先行指標となる船舶・電力を除く民需(季節調整済み)は前期比0.7%増の2兆5379億円。プラスは2期連続。10～12月期も3.1%増と回復が続く見通し。7～9月期は製造業が8.2%増の1兆2700億円。化学機械や産業用ロボットなどの受注増が寄与。船舶・電力を除く非製造業が3.8%減だった。

《 注目商品 》

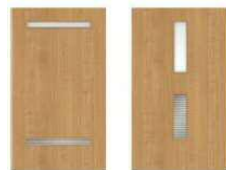
■パナソニック、ルームエアコン「エオリア」LXシリーズ

・換気・加湿・新除湿の3つの機能を持った室外機と、有害物質の抑制スピードがアップした新「ナノイーX」を搭載し、冷暖房だけでなく空気の清潔性や快適性にこだわった、お部屋の空気を整えるルームエアコン「エオリア」LXシリーズを11月中旬より発売。室外機に「高分子収着材」搭載。



■大建工業、高齢者施設・幼保施設向け「おもいやりシリーズ」のラインアップを強化

・安全性と使いやすさを追求した高齢者施設や医療施設および幼稚園・保育施設向け建材『おもいやりシリーズ』のラインアップ拡充として『収納開き戸巾狭タイプ』や『不燃面材扉用ガラリ』、抗ウイルス機能『ビオタスク』を付与した『カマ錠座(引手)』などの新製品を、9月21日に発売。



■パナソニック、抗菌加工部材を搭載しシリーズ刷新 「ウツクシリーズ」「シーライン」

・洗面化粧台の2種をリニューアル。いずれもミラーの開閉部、水栓レバーなど手で触れることが多い場所に、SIAA認証基準に適合した抗菌加工部材を標準採用し、11月発売。「ウツクシリーズ」はメイクのしやすさと清掃性に配慮し、コスメ引出しや汚れが落ちやすいツイストシャワーなどを新搭載。

